

校長室だより No.9

教育ミニ集会にぜひご参加ください

2022年6月13日 柏市立土小学校 校長 梅津健志

今週末の18日土曜日は、土曜参観と教育ミニ集会を予定しています。教育ミニ集会は、今年から取組む地域社会と一体となった学習について、保護者や地域の方々からお考えや支援策をいただき、夏休みまでに指導計画としてまとめていく、外部の方と一緒に子供の学びを考える会です。

でも、そんな難しいことを考えているわけではありません。学校での学びは、教科書に沿って全国一律に行われていると思われていますが、今は学校ごとに工夫をしていくようになっています。その中でも特に学校ごとに内容を任されているものに「総合的な学習の時間」があります。この総合につながる低学年の「生活科」も、学区の特色を活かして取り組むようになっています。ですから、色々な情報をいただきたいと考えて、ミニ集会を企画しています。

この「総合的な学習」と「生活科」は、国語や算数などの教科で学習した内容を、実際の場面で課題の解決のために使えるようにするため、子供たちが自分で課題を見つけ、その解決に向けて取り組んでいくようにします。課題解決や学習目的を意識して取り組むために、教科で学習した内容も身に付きやすくなります。さらに、学ぼうとする意欲や習慣が身に付き、本校の教育目標に掲げる「やりぬく力」も学習を通して身につけていきます。

今年の3年生は、その効果が見られると感じています。昨年度、学区探検をグループごとに行い、自分たちが訪れたお店や事業所のことについてまとめ、最後は「すてき発見」と称したお店紹介をそれぞれお世話になったお店にお送りしました。グループでお店を訪問した後にまとめた見学メモは、どの子どもたくさんの量を書いており、大変驚きました。みんなで同じところに行くのではなく、分担されて任されることが、普段は見られない力を発揮させるのです。それが2年生の時だけではなく、先日の市内見学に出かけた時のメモにも現れていました。説明される内容をよくメモをしており、内容もしっかりと聞きとり、説明をしてくださった方々も「すごいですね」と感心していました。

子供たちが身近な題材や課題に本気になって取組み、そこで学習したことを学校の外部の方に向けて発信するという学習は、子供の力を大きく伸ばします。18日のミニ集会では、そういう学習を各学年で作っていくための計画素案をもとに、フリートークで行います。地域を教材にする授業は、教員と保護者と地域の大人たちが「子供たちのために！」と考えて作り、お互いに助け合いながら授業を進めていく、それがコミュニティー・スクールの姿でもあります。ぜひ参加をお願いします。